

幼児教育と小学校教育の接続について(たたき台)(素案)

幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿(参考例)※		小学校学習指導要領	
例		生活科及び各教科において関連する主な内容	関係する主な各教科等
(イ)	<p>健康な心と体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす様々な活動に目標をもって挑戦したり、困難なことにつまずいても気持ちを切り替えて乗り越えようとしていたりして、主体的に取り組む。 ・いろいろな遊びの場面に応じて、体の諸部位を十分に動かす。 ・健康な生活リズムを通して、自分の健康に対する関心や安全についての構えを身に付け、自分の体を大切にす気持ちをもつ。 ・衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動の必要性に気づき、自分でする。 ・集団での生活の流れなどを予測して、準備や片付けも含め、自分たちの活動に、見通しをもって取り組む。 	<p>(生活)学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、<u>通学路の様子や子の安全を守っている人々などに関心をもち、安全な登下校ができるようになる。</u></p> <p>(生活)家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。</p> <p>(体育)運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動したり、場の安全に気がつけたりすることができるようにする。</p> <p>(道徳)健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。</p> <p>(特別活動)学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。</p>	<p>生活、体育、道徳、特別活動</p>
(ロ)	<p>自立心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の流れを予測したり、周りの状況を感じたりして、自分でしなければならないことを自覚して行う。 ・自分のことは自分で行い、自分でできないことは教職員や友達の助けを借りて、自分で行う。 ・いろいろな活動や遊びにおいて自分の力で最後までやり遂げ、満足感や達成感をもつ。 	<p>(生活)自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、<u>これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。</u></p> <p>(道徳)よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。</p> <p>(特別活動)学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、<u>日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。</u></p>	<p>生活、道徳、特別活動</p>
(ハ)	<p>協同性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな友達と積極的にかかわり、友達の思いや考えなどを感じながら行動する。 ・相手に分かるように伝えたり、相手の気持ちを察して自分の思いの出し方を考えたり、我慢したり、気持ちを切り替えたりしながら、わかり合う。 ・クラスの様々な仲間とかかわりを通じて互いのよさをわかり合い、楽しみながら一緒に遊びを進めていく。 ・クラスみんなで共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして、実現に向けて力を発揮しやり遂げる。 	<p>(国語)相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。<u>大事なことを落とさないようにながら、興味をもって聞くこと。</u></p> <p>(体育)運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動したり、場の安全に気がつけたりすることができるようにする。</p> <p>(道徳)友達と仲よくし、助け合う。</p> <p>(特別活動)学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、<u>日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。</u></p>	<p>国語、体育、道徳、特別活動</p>
(ニ)	<p>道徳性の芽生え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手も自分も気持ちよく過ごすために、してよいことと悪いこととの区別などを考えて行動する。 ・友達や周りの人の気持ちを理解し、思いやりをもって接する。 ・他者の気持ちに共感したり、相手の立場から自分の行動を振り返ったりする経験を通して、相手の気持ちを大切に考えながら行動する。 	<p>(道徳)よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。</p> <p>(道徳)幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。</p> <p>(特別活動)学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。</p>	<p>道徳、特別活動</p>
(ホ)	<p>規範意識の芽生え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスのみならずと心地よく過ごしたり、より遊びを楽しむためのきまりがあることが分かり、守ろうとする。 ・みんなで使うものに愛着をもち、大事に扱う。 ・友達と折り合いをつけ、自分の気持ちを調整する。 	<p>(生活)公共物や公共施設を利用し、<u>身の回りにはみんなが使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。</u></p> <p>(道徳)友達と仲よくし、助け合う。</p> <p>(道徳)約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にす。</p> <p>(体育)運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動したり、場の安全に気がつけたりすることができるようにする。</p>	<p>生活、体育、道徳</p>

幼児期の終わりにまで育てほしい幼児の具体的な姿(参考例)※		小学校学習指導要領		
例		生活科及び各教科において関連する主な内容	関係する主な各教科等	
(ヘ)	いろいろな人とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生・中学生、地域の様々な人々に、自分からも親しみの気持ちを持って接する。 ・親や祖父母など家族を大切にしようとする気持ちをもつ。 ・関係の深い人々との触れ合いの中で、自分が役に立つ喜びを感じる。 ・四季折々の地域の伝統的な行事に触れ、自分たちの住む地域に一層親しみを覚える。 	<p>(生活)自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。(3)</p> <p>(道徳)幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。 (道徳)目こもり世話になっている人々に感謝する。 (道徳)郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。</p>	生活、道徳
(ト)	思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・物との多様なかかわりの中で、物の性質や仕組みについて考えたり、気付いたりする。 ・身近な物や用具などの特性や仕組みを生かしたり、いろいろな予想をしたり、楽しみながら工夫して使う。 	<p>(生活)身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。</p>	生活、 図画工作
(チ)	自然とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に出会い、感動する体験を通じて、自然の大きさや不思議さを感じ、畏敬の念をもつ。 ・水や氷、日向や日陰など、同じものでも季節により変化するものがあることを感じ取ったり、変化に応じて生活や遊びを変えたりする。 ・季節の草花や木の実などの自然の素材や、風、氷などの自然現象を遊びに取り入れ、自然の不思議さをいろいろな方法で確かめたりする。 	<p>(生活)身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることや自分に生活や遊びを工夫したり楽しくしたりできるようにする。</p> <p>(道徳)身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。</p>	生活、道徳
(リ)	生命尊重、公共心等	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な動物の世話や植物の栽培を通じて、生きているものへの愛着を感じ、生命の営みの不思議さ、生命の尊さに気付き、感動したり、いたわったり、大切にしたりする。 ・友達同士で目的に必要な情報を伝え合ったり、活用したりする。 ・公共の施設を訪問したり、利用したりして、自分にとって関係の深い場であることが分かる。 ・様々な行事を通じて国旗に親しむ。 	<p>(国語)文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。</p> <p>(生活)公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなが使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気をつけて正しく利用することができるようにする。</p> <p>(生活)動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。</p> <p>(道徳)身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。</p> <p>(特別活動)入学式や卒業式などにおいては、その意義を踏まえ、国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導するものとする。</p>	国語、 生活、 道徳、 特別活動
(ヌ)	数量・図形・文字等への関心・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びを通じて、自分たちに関係の深い数量、長さ、広さや速さ、図形の特徴などに関心をもち、必要感をもって数えたり、比べたり、組み合わせたりする。 ・文字や様々な標識が、生活や遊びの中で人と人をつなぐコミュニケーションの役割をもつことに気付き、読んだり、書いたり、使ったりする。 	<p>(国語)音節と文字との関係や、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くこと。平仮名及び片仮名を読み、書くこと。</p> <p>(算数)具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚、量の大きさについての感覚、図形についての感覚を豊かにするとともに、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。</p>	国語、算数
(ル)	言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の話の内容を注意して聞いて分かったり、自分の思いや考えなどを相手に分かるように話したりするなどして、言葉を通して教職員や友達と心を通わせる。 ・イメージや考えを言葉で表現しながら、遊びを通して文字の意味や役割を認識したり、記号としての文字を獲得する必要性を理解したりし、必要に応じて具体的な物と対応させて、文字を読んだり、書いたりする。 ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わうことを通して、その言葉のもつ意味の面白さを感じたり、その想像の世界を友達と共有し、言葉による表現を楽しんだりする。 	<p>(国語)書いたものを読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合うこと。 (国語)互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。 (国語)場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。</p> <p>(生活)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。(8)</p>	国語、生活
(ロ)	豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにもちながら、楽しく表現する。 ・生活や遊びを通して感じたことや考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったり、演じて遊んだりする。 ・友達同士で互いに表現し合うことで、様々な表現の面白さに気付いたり、友達と一緒に表現する過程を楽しんだりする。 	<p>(音楽)歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。声や身の周りの音の面白さに気付いて音遊びをすること。音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。 (音楽)楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。</p> <p>(図画工作)身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付けてつくること。感覚や気持ちを生かしながら作ること。感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。 (図画工作)感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。</p> <p>(体育)表現遊びでは、身近な題材の特徴をとらえ全身で踊ること。</p>	音楽、 図画工作、 体育

※「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」(平成22年11月11日)に基づく整理。教育課程部会幼児教育部会において、本WG等の議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりにまで育てほしい姿の明確化について審議。